

院長補佐  
臨床研修センター長 迫 秀則

私は臨床研修センター長として研修医の皆さんが元気で楽しく研修できる環境を提供したいと考えています。研修とは言え医師としての仕事ですから、楽しい事ばかりではなく難しい事や苦しい事があるのは当然ですが、毎日の事なので楽しくなければ続かないと思います。私の仕事は研修医の誰かが辛そうにしていたり悩んでいたりをいち早く察知して、少しでも問題を解消してあげることだと考えています。毎日楽しく研修できて、あっという間に2年間の研修を終えて「大分岡病院で研修して良かった」と言ってもらえたら嬉しいですよね。



## First Year 医師としての基礎作り

1年目の平均経験数

救急車搬入台数(2021年度) 1926件/年

中心静脈カテーテル 10例/年

ERファーストタッチ 200人/年

動脈ライン 16例/年

CPA 10例/年

腰椎穿刺 22例/年

中心静脈路確保 10例/年

縫合 100人/年

内視鏡 20例/年

当直トレーニング 3回/月

気管挿管 42例/年

### 研修医募集要項

#### ■身分

正職員(研修医)として採用

#### ■勤務時間

8:30 ~ 17:30

#### ■給与

一年次 月額545,000円  
(学会参加費、出張旅費、必要書籍代含む)

二年次 月額580,000円  
(学会参加費、出張旅費、必要書籍代含む)

※出張旅費は病院が認めたものは支給  
※二年次より当直手当有り

#### ■加入保険

雇用保険・健康保険  
労災保険・厚生年金保険

#### ■医師賠償責任保険あり

#### ■宿日直

1年次 1回/週(トレーニングとして)  
2年次 3~5回/月

#### ■福利厚生

[ 宿舎 ]  
あり(空かない場合、月5万円の住宅手当支給)

[ 保育所 ]  
事業所内保育所、病児保育施設、学童保育あり

#### ■休日・休暇

年次有給休暇(1年間に10日)  
インフルエンザ休暇(3日)

### 応募要項

募集定員: 5名 募集期間: 5月~8月 応募資格: 2023年度医師国家試験受験予定者  
必要書類: 履歴書、卒業(見込)証明書、成績証明書、健康診断書 選考方法: 面接

### 病院見学 随時受付

病院の雰囲気を実際に自分の目で見て、感じてみませんか。  
学年に関係なく、長期休暇を利用しての実習も受け入れています。

申し込み先 臨床研修事務担当 安東・小副川 メールアドレス ando1901@keiwakai.oita.jp

社会医療法人 敬和会 大分岡病院  
〒870-0192 大分市西鶴崎3丁目7番11号  
TEL 097-522-3131(代)

WEB



# 大分岡病院 インターンズ

## Oita Oka Hospital Interns





# Second Year

研修医2年目 [第17期生]

## message



Tamura  
Masaki

大分岡病院は話しやすく、優しい先生方が多いです。研修医室が先生方のデスクと同じスペースにあるため、困ったことがあればすぐに相談することができます。自分の回っている診療科から他科へコンサルトする時も気軽に行けるのが特徴だと思います。また、ローテーションしている研修医の数が診療科ごとで1人が2人なので、指導医の先生方との密度も高く、外科では執刀経験を、消化器内科では上部消化管内視鏡検査や下部消化管内視鏡検査を多く経験させてもらえます。

田村 尚輝

大分岡病院の救急科研修では、救急搬送された患者さんは退院するまで一貫して担当医となります。内科から外科まで様々な症例があり、その中で私が研修中に印象的であった症例は2つあります。1つは出血性ショックの高齢患者さんです。外来で止血後にショックの輸液管理などを行いましたが、輸液量を少しでも間違えると心不全になったり、ショックが進行したりするので毎日経胸壁エコーを行い、悩みながら治療をしました。もう1つは walk in で来院し、脊椎の血腫で緊急手術を行った症例です。いち早く神経所見に気づき、診断、手術を行って麻痺なく退院させたベテランの先生の鋭い判断力に憧れました。手術も熱心に指導いただき貴重な経験となりました。皆さんも大分岡病院で心に残る情熱的な経験をしませんか!!

市原 広基



Ichihara  
Hiroki



Maeda  
Koki

研修病院を選択する基準として、救急の初期対応など数をこなせるか、上級医のサポートは手厚いか、志望科が強い病院であるか、など人によって重視するところは様々あると思います。自分の場合は、そこまで規模の大きいとコミュニケーションが電話中心になってしまったり、働く人たちの顔が見えにくくなってしまい、関係が希薄になってしまうのではないかと考えたからです。それは少し寂しいと思うので、どうせ仕事をするなら顔と顔を合わせて、お互いに顔と名前を一致させて働く方が気持ちいいし、気軽に相談もしやすく、楽しく働けるのではないかと思います。その点において、今理想の研修ができていて感じています。人と人との距離、これも一つ基準を考えてみてはいかがでしょうか。

前田 晃希

私が大分岡病院に来て一番驚いたことはスタッフとの距離の近さです。大分岡病院はメディカルスタッフと話すことがとても多く、優秀でかつ優しい人が多いので、わからないことを気軽に聞くことができます。病棟ごとに各職種のメディカルスタッフが専任にいるため、担当患者さんの相談にもつてくれ、働きやすい環境です。休日は回っている診療科で担当患者さんがいる場合、午前中病院に行って、午後から自由な時間があることが多いです。昨年の休日を思い返すと、勉強と趣味に時間を作れていた気がします。メリハリがしっかりしている、これも大分岡病院で研修するメリットです。是非研修先の候補として考えてみてください。

佐藤 雄太



Sato  
Yuta



Yonemasu  
Ryosuke

救急科でのファーストタッチも最初は恐る恐る診療していましたが、先生方の丁寧な指導と当直トレーニングによって自信ができてきたと思います。1年目は22時までの当直トレーニングと週1回救急科を回る救急当番日でコンスタントに救急診療を学んでいます。各科の研修では、手技を中心に病棟管理まで幅広く経験できていると思います。研修医が自分主体で手技に臨める場面が多いのも大分岡病院の特徴です。また、実際に働き始めると、看護師をはじめとして診療放射線技師、薬剤師、各療法士の方々に相談することが多いのですが、各職種スタッフが教育熱心で相談しやすく、相談する中で学ぶことが多くあり勉強になっています。

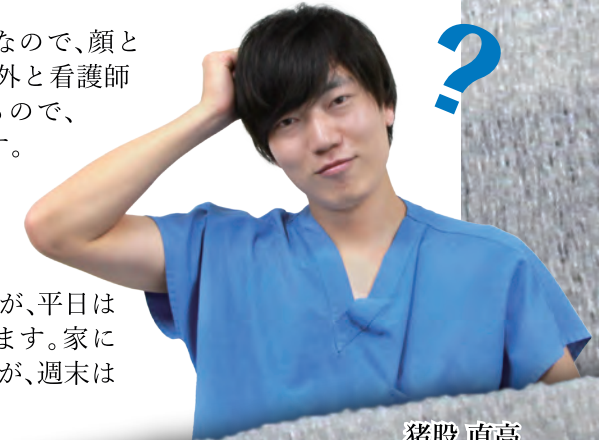
米増 諒介

## Q & A

1年目の?に2年目が答えます!

### — Resident Real Voice —

- Q-1** 薬の名前を一般名で覚えていたのに、現場で使うのは商品名ばかり。ひとつずつ、新しく覚えていくしかない・・・ですか?
- A** 研修医にとって一つ目の関門だと思います。実際にメモして覚える、語呂で覚える、などでなんとか覚えていくしかないです。患者さんは実際に商品名で話をするので、覚えていると会話できるようになるので頑張ってください。
- Q-2** 採血などの手技が難しいです。上手くなれるか不安です。上手くなれますか?
- A** 採血はとにかく回数をこなすことが大事だと考えます。最初は経験がないので針の向きや刺し方など理屈も分からず失敗しやすいですが、成功体験を積み重ねて自信が付き、論理的に理解できるようになると失敗しなくなります。
- Q-3** 患者さんへの説明など言葉遣いは経験値で上手くなっていきますか?何かコツはありますか?
- A** 上級医の先生の患者さんへの接し方、ICなどしっかり見ると良いと思います。きっと勉強になるかと思います。
- Q-4** 指導医の先生が忙しそうなのですが、わからないことをなんでも質問しても大丈夫ですか?
- A** 先生の空気を読むのも社会人としての嗜みと考えます。無闇に声をかけをしないよう、先生が余裕がありそうなタイミングを逃さず声かけするとか、ある程度自分で調べて先生の説明の時間を減らそうとするなど、自分でできる配慮を常に考えています。
- Q-5** スタッフの顔と名前を把握するのが難しいです。早く覚えるコツはなんですか?
- A** 今はコロナ禍で、全員がマスクをしている状態なので、顔と名前を一致させるのは難しいと思いますが、意外と看護師さんなどは持っている小物に個性があったりするので、それと合わせて覚えるといいかもしれません。
- Q-6** オンとオフどうやって切り替えていますか?
- A** 疲れた日は何もせずに寝たりすることもあります。平日は散歩したり、たまに外食したりして過ごしています。家に帰ると自然にオフになっていることが多いですが、週末は趣味に費やして過ごすこともあります。



猪股 直高  
1年目(たすきがけ)